

心電図アカデミー1

in金沢

日常診療に携わるメディカルプロフェッショナル・若手医師・研修医の方を対象に、心電図の読み方を判りやすく解説いたします。

日時 2024年7月20日(土) 10:10～12:10

会場 ホテル金沢 2F 第9会場 ダイヤモンドA
〒920-0849 石川県金沢市堀川新町1番1号

『メディカルプロフェッショナルに伝えたい！心電図判読のコツ』

座長：池田 隆徳 先生 東邦大学大学院医学研究科循環器内科学

座長：高橋 尚彦 先生 大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座

1) 「見逃してはいけない心電図所見」

演者：篠原 徹二 先生 大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座

2) 「ホルター心電図，モニター心電図の読み方」

演者：荻ノ沢 泰司 先生 産業医科大学医学部 第2内科学

◆定員：450名 ※定員になり次第募集を締め切らせていただきます。

◆お申し込み方法

フクダ電子「心電図アカデミー1」<https://www.fukuda.co.jp/medical/course/>は、

「第70回日本不整脈心電学会学術大会」の参加費が必要です。

大会ホームページ<https://jhrc2024.ace-enterprise.biz/>よりお申し込みください。

参加登録開始は5月13日(月)を予定しております。随時HPをご確認ください。

※キャンセル待ちはございません。受講希望の方は必ずお申し込みください。

※原則返金はできません。

◆JHRS 認定心電図専門士更新単位を希望される方へ

本セミナーにより更新単位(10単位)が取得できます。

受講証明書の配布はありません。会場前の受講受付で入場・退場時に【来場二次元コード】を読み取り、単位登録いたします。遅刻および早退は単位認定できません。

◆参加登録およびJHRS 認定心電図専門士資格についてのお問い合わせ先

第70回日本不整脈心電学会学術大会 運営事務局 株式会社ACEエンタープライズ内

E-mail: jhrc2024-regi@ace-enterprise.net



問い合わせ先：フクダ電子株式会社 心電図・超音波講習会窓口(☎0120-155-737[受付時間]平日9:00～17:00) メール：fsemi@fukuda.co.jp

*心電図アカデミー2につきましては、nk-seminar02@db.nkc.co.jp(日本光電・心電図アカデミー2係)にお問い合わせください。

座長の言葉

座長：池田 隆徳 先生

東邦大学大学院医学研究科循環器内科学

座長：高橋 尚彦 先生

大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座

12誘導心電図は非侵襲的に行える簡便な検査法であるが、そこに含まれる情報は非常に多い。一方、病棟ではモニター心電図がリアルタイムに流れており、危険な不整脈が出現するとアラームが鳴る。ホルター心電図は長時間記録された心電図に異常所見がないか解析する検査法である。医師だけでなくメディカルプロフェSSIONAL (MP) にも心電図判読が必要になる機会が増えている。日本不整脈心電学会では毎年 MP 向けの心電図判読セミナーを実施している。今回、「メディカルプロフェSSIONALに伝えたい！心電図判読のコツ」と題して、この領域の専門家である2人の先生をお招きして講演していただくことにした。篠原徹二先生には、Brugada 症候群や早期再分極症候群といった、突然、心室細動をきたす不整脈疾患の特徴的な心電図所見を中心に解説していただく。荻ノ沢泰司先生には、モニター心電図、ホルター心電図の判読法をわかりやすく解説していただく。今回の心電図アカデミーが MP のみなさんの知識向上と日常業務に役立つことを期待している。ぜひ多くの方々に聴講していただきたい。

抄録

1) 「見逃してはいけない心電図所見」

演者：篠原 徹二 先生

大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座

心臓突然死は、急性徴候の出現から24時間以内の予期せぬ死亡と定義される。総務省消防庁の報告によると、日本では年間約12.7万人の心停止患者が発生し、そのうち約7.9万人が心原性のもので推定されている。主な原因は冠動脈疾患(50~60%)と心筋症(30~35%)であり、遺伝性不整脈疾患(QT延長症候群、QT短縮症候群、ブルガダ症候群、早期再分極症候群、カテコラミン誘発多形性心室頻拍、進行性心臓伝導障害など)は10%弱程度とされている。しかし、このような遺伝性不整脈疾患による突然死は比較的若い患者に起こりやすく社会的損失が大きいため、適切な対応が喫緊の課題となっている。心電図検査はその予兆を知る有用な検査の一つであり、循環器専門医を含めた医師のみならず、メディカルプロフェSSIONALにとって遺伝性不整脈疾患の心電図所見に関する理解が必要とされる。本講座では、「見逃してはいけない心電図所見」として、遺伝性不整脈疾患を中心に心電図所見とその臨床の特徴について概説する。このセッションがメディカルプロフェSSIONALにとって、どのような心電図所見に注意すべきかを学ぶ機会になれば幸いである。

2) 「ホルター心電図、モニター心電図の読み方」

演者：荻ノ沢 泰司 先生

産業医科大学医学部 第2内科学

日常診療において24時間ホルター心電図は、①発作性に出現する症状・不整脈・心筋虚血イベントの捕捉、②持続性不整脈の重症度評価、③薬効やペーシング等治療の効果判定、④自律神経機能評価など、様々な目的で用いられている。さらに近年では、ベルト型・パッチ型・着用型など多様な形態のものが登場し、数日~数週間という長期間の観察が可能となった。自動解析機能の進歩により、長時間記録の中で注目すべき波形や診断の提案は表示されるものの、最終診断は医療者が判読しなければならない。しかしながら、病院からクリニックに至るまで一般的に普及し、診療上不可欠な検査であるにも関わらず、ホルター心電図に関する成書は殆どなく、その読み方を学ぶ機会は極めて限られている。本セミナーでは、ホルター心電図の基本的知識に加えて、限られた誘導波形からどのようなプロセスで診断を行うのか、連続記録である事で得られる付加的情報をどのように評価するのかなど、ホルター心電図に関わるスタッフに必要な情報に留まらず、モニター心電図や12誘導心電図の読み方・考え方も深まるようなレクチャーとしたい。